

# 日本海新聞 2009年10月15日（木）掲載

## 郡家球場 天然芝 あざやか

内野部分などリニューアル



内野を芝生化してリニューアルした郡家野球場。手前は八頭町の町章＝八頭町郡家の郡家野球場

八頭町は同町郡家にある郡家野球場の内野を芝生化し、リニューアルした。天然芝がグラウンドに青々と映えた光景は、部活動の児童・生徒や草野球の選

手など野球関係者の関心を集めている。同町によると、内野の芝生化は県内の公営球場では初めて。全国でも山形県の鶴岡市小真木原野球場に次いで2例

目。

同球場は、わかとり国体（1985年）に合わせて建設。スポー

ツ少年団や中学校の部活動、社会人野球と幅広い世代に使用されている。

芝生化でグラウンドの土の移動を最小限に抑えることで、使用前後の整備時間を短縮するほか、緑化や熱中症対策なども狙う。

9月下旬から今月8日にかけて、球場1万1990平方メートル、内野部分の1878平方メートルとベンチ前などに天然西洋芝のティフトン芝を敷設。バッターボックス後方には町章もあしらった。

同町建設課の野崎正実課長は「建設から20年以上が経過したが、これを機に『この球場を使ってみよう』と、さらにたくさんの人に思ってもらえたら」と期待している。